

学校生活アンケートの集計結果 報告

◆学校教育について

適合度						
	そう思う う	大体そう思 う	あまりそう 思わない	そう思わな い	無効	計
1 子どもは、楽しく学校生活を送ることができている。	138	263	26	11	2	440
	91.1%		8.4%			
2 学校内外の安全確保に配慮がされている。	74	242	107	15	2	440
	71.8%		27.7%			
3 学校の教育方針を支持している。	182	193	57	8	0	440
	85.2%		14.8%			
4 子どもは、学習内容が理解できている。	98	306	20	12	4	440
	91.8%		7.3%			
5 ホームページや学校だけで子どもたちの様子を知ることができます。	72	216	114	35	3	440
	65.5%		33.9%			

◆家庭の様子について

適合度						
	できている いる	大体できて いる	あまりでき ていない	できていな い	無効	計
1 進んであいさつをするように意識している。	103	163	124	47	3	440
	60.5%		38.9%			
2 家庭学習をするように働きかけている。	204	133	89	12	2	440
	76.6%		23.0%			
3 家庭で読書させるように心がけている。	68	152	166	52	2	440
	50.0%		49.5%			
4 ホームページや学校だけを見るようにしている。	166	169	83	20	2	440
	76.1%		23.4%			
5 参観などの学校行事には、できるだけ参加しようと心がけている。	124	203	64	47	2	440
	74.3%		25.2%			

学校生活アンケートより

子どもたちが楽しく生活を送ることができる学校であることは、誰もが望むべき姿であるし、9割以上の児童がおよそ楽しく生活できていると感じていることは、とっても嬉しい結果です。

ただし、8%の児童が楽しいと感じていない実態や、楽しいと思わない児童がどのクラスにもいることを真剣に受け止め、誰もが楽しく授業を受けることができ、安全に安心して学校生活が送れる学校をめざして行きます。

安全確保については、今年度はいろいろな災害や、防犯を想定した訓練を行います。また、校舎内外の危険箇所の保守保全も積極的に実施しています。登下校については、地域・保護者のみなさんのご協力をお願いしながら、子どもたちにも意識付けをしていきます。

学校の教育方針については、十分にお伝え切れていない点があると思っています。学校だよりだけでなく、家庭教育学級でお話しさせていただいたら、いろんな行事の保護者説明会の場でも方針や目標をお話したりする機会をいただいております。しかし、すべての保護者のみなさんにお伝えしきることができているわけではありません。今後、もっといろんな機会を活用して保護者のみなさんに教育方針についてお伝えし、児童の姿を通して実感できるようにしていきます。

90パーセントを超える児童が学習の理解ができると実感してくれていることは、学校として何よりの喜びであり、はげみであります。日々の授業で一人一人の子どもたちが学習したことが解ったと思えることが最大の目標です。7.3%のそう思わない児童に焦点を当てた授業を進めていきます。

学校だよりやホームページには基本的には、子どもたちががんばっている様子や、学校としての取組やその成果をお知らせするようにしています。危険情報などの緊急性が必要なものは、掲載しません。また、児童の個人が特定できるような内容は掲載しないように配慮しています。

児童の安全対策の一環として、今年度よりできるだけ児童の個人情報につながる表示を控えています。名簿の配布をやめていることはもちろんです。一部の保護者の方から児童名簿の配布や、学級連絡網の作成配布ができないのかとのお問い合わせをいただきますが、本校では児童の在籍がわかるようなものや個人情報の拡散を防ぐために、名簿や連絡先の配布は致しません。

下駄箱への名前の貼り付けも昨年度から行っておりません。プライバシーの保護だけでなく、在籍確認ができないように配慮しています。

また、現金を持っての登校もやめさせています。現金を持っていることによって無くしたり取られたり取ったりのトラブルを極力避けています。保護者のみなさんから名札代くらい持たせたいとのご意見をいただきましたが、少額であっても学校に現金を持ってこさせることはやめさせます。保護者のみなさまにはお手数をおかけいたしますが、ご協力ををお願いいたします。

子どもたちには、毎朝元気にあいさつをするように働きかけています。あいさつは子どもたちのコミュニケーション能力を高めるために第一歩です。社会では、あいさつによって印象が決められたり、社会性を問われることもあります。ご家庭でもあいさつを交わす習慣がなければ自分からあいさつすることが苦手になることがあります。伏見南浜小学校の児童の中にはあいさつが苦手なシャイな子がいます。そこで、次のような目標を決めてあいさつができるようになっていったほしいと願い、機会があるごとに働きかけを行っています。

- 自分からあいさつする
- 大きな声であいさつする
- 相手の顔を見てあいさつする
- 知ってる人には名前を呼んであいさつする
- 遠くからでもあいさつする
- 会釈してあいさつする
- おうちでも進んであいさつする
- 相手より先にあいさつする
- 笑顔であいさつする
- 地域の知っている人にも挨拶する

伏見南浜小学校の子どもたちのあいさつする声が地域に響くようになってきています。
みんながあいさつしてくれるととっても活気のある学校につながっていくと考えています。